

# 物的環境に関連するインシデント・アクシデント事例

## 事例番号 3 2 1

発生場所	ナースステーション	精神・意識障害の有無	無	リスク A. 患者による使い方・置き方のリスク D. スタッフによる物の不適切な使用・利用・選択・設置・確認不足によるリスク
発生場所 (その他)				
関連したもの	カート	発生内容の分類	転倒	

### 発生内容

椅子に座っていた患者さんが立位時に近くにあるワゴンに掴まったところ、ワゴンが動いてしまいそのまま転倒した。

### 概要

入院患者Aさん（男性・80歳代・脂肪内肉腫骨転移）（入院期間2ヵ月） 自立歩行可能だが、立位時に軽介助要。14時30分、転倒。14時頃ナースステーションに入院患者Aさんが来室する。ナースステーションにある丸椅子にAさんに座ってもらい看護師Bが足浴を開始する。足浴していた看護師Bは他患者の対応の為、そばを離れる事をAさんに伝えて離れる。その後ガシャーンと音がして看護師Bがナースステーションに戻ると、看護師Cと補助者2名に支えられているAさんを発見する。Aさんは、「近くにあったワゴンに掴まり立とうと思ったら、ワゴンが動いて転んじゃった。ワゴンに掴まってたから強くはぶつけなかったよ。」と話す。

### 要因

- ・ワゴンが患者の近くに置いてあった。
- ・ワゴンにはストッパー機能がない。

### 対策

- ・患者を一人にしない。
- ・動くもの、不安定なものを患者の側に置かない。

### 参照